

㊦ いちのみや

議会だより

● 発行所 ●

一宮町議会

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮2457
TEL 0475 (42) 2111 (代)
TEL 0475 (42) 1421 (直)
FAX 0475 (42) 2465

発行 一宮町議会
編集 議会報編集委員会



おめでとう！新成人

平成 23 年 2 月
第 138 号

TPP交渉参加を 全会一致で反対

- 12月定例議会で決まったこと …… (2)～(3)
- 一般質問7名の議員より …… (3)～(9)
- 平成22年第3回臨時議会で決まったこと … (10)
- 平成23年第1回臨時議会で決まったこと … (11)
- 請願・発議・議会の主な動き・編集後記 … (12)

十二月定例会議

平成22年第4回定例会は12月20日に開催され、町長の行政報告をはじめ、一般質問は7名の議員がおこないました。

また、議案として、協議1件、一般会計他2会計の補正予算、同意案2件、請願1件、発議1件が提出され、すべて原案どおり可決されました。



「いっちゃん」も参加した子ども議会（1月27日）

長生郡市広域市町村圏組合規約の変更に関する協議

長生郡市温水センターの一部施設、温水プール、浴場の運営を民間に移行し、更なる利便性の向上と行政負担の軽減を図ること。また、公立長生病院の地方公営企業法全部適用により、病院経営の採算性と公共性を図るため長生郡市広域市町村圏組合の規約の変更について、関係市町村と協議しようとするものです。

反対討論

舩場 博敏議員

今回の協議は2つの内容からなっている。1点目は、温水プールとそれに付属する浴場の老朽化や、利用者の減少、財政負担増等の理由で民間に普通財産として10年間貸し出す内容である。これまで郡市地域住民の体力づくりやリフレッシュなど、健康増進の公共施設であったものが民間業者に貸し付けられ、会員制の営業方式へと大きく変ることである。

民間業者への貸し付けはやむを得ない選択だとしても、これまで住民が利用していた利便・サービスの代替措置がまったく取られないまま切り捨てられる。本来の健康増進等公共施設が果たしていた役割の放棄であり認められない。改善を求める。

2点目は、長生病院の地方公営企業法「全部適用」という経営形態の変更問題であり、国の示す公立病院改革ガイドラインにそった内容である。多くの病院事業は民間的経営手法を取り入れ、経費削減を第一課題としている。

そのため「全部適用」に移行した多くのところでは、最初の理念からずれて業務の集中化、民間委託化、有料サービスの範囲拡大、差額ベッド代や診断書料金の負担増などが強化されている。そのことは公的責任を後退さ

せ、民営化への道を開くものであり認められない。長生病院は地域医療の中核的病院として、維持・充実を図ることこそ急務であることを訴え反対する。

賛成討論

島崎 保幸議員

長生郡市温水センターは、ごみ焼却処理時に発生する余熱を利用し、圏域住民の健康促進と体力づくりの場として、また、余暇活動及びふれあいの拠点として、平成8年4月に施設を供用開始して以来14年が経過している。

その間多くの方が利用しているが、老朽化が進み毎年度維持補修費が増大し、施設の管理運営費は、利用料収入では到底追いつかず、組合の構成市町村の大きな負担となっている。

このような中で、組合が施設を直接運営し、その赤字補填のために、住民の税金を投入していくことは、住民の理解が得られないことから、運営を民間に移行し行政負担の軽減を図ることはもとより、利用者の更なる利便性を図るため、施設を貸し付けることとしたものであり賛成する。

また、現在の長生病院の事業形態は、特別に財務（予算、決算契約等）に関する規定のみ、地方公営企業法の一部を適用した経営形態となっている。

長引く経済不況により自治体は病院への多額の税金投入が厳しい状態であり、また公立病院は「低いコストによる高いサービスの提供」が求められており、全部適用への移行により、事業管理者に病院経営に関する権限を掌理させ経営責任を委ね、採算性と公共性を確保するものであり、一部適用の場合では病院のトップである病院長に対して、経営に必要な「人・金・物」に関する権限がほとんど与えられておらず、権限のない病院長に経営責任を負わせることは難しいことから、事業管理者の経営手腕により採算性の確保に繋がる全部適用にも賛成する。

一般会計補正予算（第4次）

歳入歳出の総額にそれぞれ1億1千7百34万6千円を追加し、歳入歳出を42億9百9万7千円とするものです。

主な内容は、国民宿舎一宮荘ほか跡地解体工事7千3百50万円、子宮頸がん・ヒブワクチン・小児肺炎球菌接種緊急促進事業1千3百81万円、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金1千20万6千円等です。

これらの財源は、国庫支出金1千2百87万8千円、県支出金9百33万2千円、福祉振興基金・ふるさと応援基金繰入金6百15万1千円、繰越金8千8百48万5千円です。

国民健康保険事業特別会計補正予算（第4次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1百37万8千円を追加し、歳入歳出を13億8千2百16万円とするものです。

内容は、退職被保険者等の高度な医療の増による高額療養費の増額、及び平成21年度特定健康診査・特定保健指導の精算として、国・県へ返還のため増額するものです。

介護保険特別会計補正予算（第4次）

歳入歳出の総額にそれぞれ5百52万5千円を追加し、歳入歳出を8億6千3百65万2千円とするものです。

これは、保険給付費のうち、特定入所者介護サービス等費の給付対象となる利用者が増加したことによるものです。

特定入所者介護サービス等費は、町県民税の非課税世帯などの所得が低い方がショートステイなどのサービスを利用される場合、住居費や食事の利用者負担が軽減される事業です。今回、利用者の増加に伴い予算の不足が生じますので補正を行うものです。

同意

固定資産評価審査委員に新地（新地区）の細谷俊夫さんを同意

教育委員会委員に東浪見（釣区）の高山美代子さんを同意



住民参加はどのように



藤乗一由議員

一宮町総合計画は、基本

構想、基本計画、実施計画の3つに分かれ、現在実施計画の策定にあたっている。町長が日頃唱える行政と住民との協働について、実施計画の中における考え方の位置づけと、そのための仕組みづくりはどのように進める考えであるか。

各種の住民参加の委員会メンバーには偏りがあるのではないか。

また、より多くの住民に行政の情報が認知される手段を検討して欲しい。

自治の基 本原則で

玉川町長 以下の三点を実施計画に織り込み計画的に進めたい。



どうなる一宮町総合計画

第三は、住民の自発的な社会貢献活動の支援を町が積極支援していくことで、町民提案事業を始め今後その方法を検討していく。

第一に情報の共有化により行政が町民と手を携えていくこと。わかりやすい予算書の発行・広報・ホームページの充実等はこれを目指しており、今後さらに努力する。

第二は住民が積極的に町づくりに参加できる機会を増やしていく仕組みで、現在の公募委員等今後さまざまな仕組みを検討していく。

全国的には自治の基本原則や住民・首長・行政・議会各々の役割や責任等。住民参加型の自治体運営の基本ルールによる自治推進の制度を、条例等により定める自治体もあり、これを3カ年中に検討していきたい。

各種委員会の公募委員の割合は2割程度で、後は学識経験者、各種団体の代表者による。委員は重複がないよう配慮している。

工事発注は地元優先に



鵜野澤一夫議員

時やごみゼロ運動等でのボランティア活動の協力でも、すぐに対応できるという理由で地元業者育成を考慮した方法がとられている。考えを伺う。

町内業者育成に配慮

町は町内業者育成の観点から、町外業者より町内業者へ発注すべきである。また、建設工事の入札方法は、町の実施要領で一億円未満が指名、一億円以上が一般競争入札となっている。

近隣の市町村では、アフターサービスの面や、災害

玉川町長 地方自治法財務規則により80万円以上の物品調達が入札、それ以下は町内業者育成の観点から町内で調達している。



一宮町役場庁舎

水道管の地震対策は

建設工事等の入札方法は、一億円以上は制限付き一般競争入札を実施しており、建設業法の規定に基づき、町内業者も参加できる入札条件を設定し、配慮している。庁舎建設についても同様の観点から実施していきたい。

新潟中越地震では水道管の決壊災害があり、その復旧に約一ヶ月間を要した。当町の水道は茂原市、長生村、睦沢町を経て末端の一宮町に給水されている。

水道管の耐用年数は40年であり、この基幹管路の耐震適合について調査し、不適合があれば即座に交換する必要がある。基幹管路は大丈夫か伺う。

耐震管路へ交換

総務課長 耐震水圧改善工事は、一宮町に給水されている基幹管路については、管路更新等の整備を実施し

終了している。

しかし、旧町営水道の時代に埋設された幹線管路から宅内に入るまでの管路が残っている。その中に耐震性に弱い石綿管が有り、更新が急務となっている。現在交換中で、36.8kmの内30.2kmが完了、残り6.6kmは平成26年度を目標とし、漏水多発地点を優先して耐震管路へ交換を実施していく予定である。

長生グリーンラインの進捗状況は

長生グリーンラインは圏央道の茂原・長南インターから大原町までの30kmが計画され、当面は国道409号線から茂原市三ヶ谷までの7.2kmが整備区間である。一宮町、外房地域にとって産業、観光等の観点から一日も早い完成を願うが現在の進捗状況及び完成予定を伺う。



進捗率 30%の長生グリーンライン

24年度一部開通予定

小関都市環境課長 長生グリーンラインは、長南町国道409号線千田交差点から茂原市三ヶ谷間7.2kmが整備区間で進捗率30%である。そのうち国道409号線から長南インターまでの700mを圏央道の開通に合わせ、平成24年度共用を開始すべく現在重点的に工

事が進んでいる。茂原台田交差点4km区間は100%の用地買収が済んでおり、今後優先的に工事に着手する。

茂原・一宮間の整備区間への格上げを国や県に強く働きかけていく。

こんな質問もありました
○各種ワクチン予防接種について
○総合的な健康づくり対策について

農業壊すTPPに

反対を



舩場博敏議員

政府は11月9日、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への協議を開始する方針を決めた。しかしこれは、農水省の試算でも、地域農業に破滅的打撃を与えるだけでなく、地域経済・雇用・環境に重大な影響を

及ぼす。

※農業センサスをもとにJA長生管内農産物の影響試算では、77億5千100万円（41%）の減少となった。当町の影響額はどの程度と見ているか。

町長も反対を表明すべきだと思いが見解を伺う。

※農業センサスとは農業に関する全般的な統計調査。日本では5年ごとに実施。

機会ごとに

反対訴える

玉川町長 TPPは関税撤

廃の例外を一切認めないという完全な貿易自由化を目指すもので、千葉県の農業総算出額の33%、約千380億円が減少。

当町は、約4億5千660万円（17.4%）の減少と試算している。米から野菜果樹への作付移動による価格下落も考えると、さらに大きくなる可能性もある。

長生郡市の町村会もTPP参加反対の要望書を民主党に提出した。全国町村会の大会でも決議した。当町も機会があるごとに意見表明していく。

医療費の無料化を中学卒業まで

県が12月より小学校3年生まで無料化対象年齢を拡大した。若いお母さんから「子供たちを、社会で育てる環境をつくってほしい」「子供が小さいので医療費の心配なく育てられ大変助

かっている」などと喜ばれている。

中学卒業まで医療費無料化を拡大してほしいとの声は、短期間に520名を超える要望署名が提出され強いものがある。近隣町村でも実施されており、当町も新年度よりの実施を望むが、見解を伺う。

予算編成で最終決断

玉川町長 子供の医療費助成は段階的な拡大を考えていると答弁したが、県が平成23年度から小学6年生まで実施したとしても、実施は12月ぐらいになると思う。町はそれを4月に前倒しして実施するのも一つの考え方だ。

中学卒業まで拡げても、医療費負担はそれ程からでない実態は、長南町・長生村でも数字が出ている。当町も中学3年生まで実施したい考えもある。

新年度の予算編成の中で財政状況等を考慮し最終決断したい。

東浪見駅に駐輪場を

設置に向け協議



やめよう無断駐輪

役員の努力で、大村区の集会所付近にあった違法駐輪自転車車をなくしたが、その後駅周辺に広く違法駐輪されるようになった。

ひとつの場所をなくしても他に置かれる状態が続く。各自のモラルの問題もあると思うが、公共の自転車置場の設置も必要だ。

幸いJRの元トイレ跡など用地スペースもあるので、町がJRと交渉して駐輪場を設置してほしい。見解を伺う。

小関都市環境課長 東浪見駅に駐輪場設置の件で、JR千葉支社に設置の要望をしたところ、「設置の意思はない」との回答であった。

町がJRの敷地内に設置するのであれば、土地は有償で貸すことは出来るとの事であった。

今後駐輪場設置に向けて整備手法・規模・費用・維持管理などJRと協議しながら検討したい。

グループ制に

問題ないか



志田延子議員

役場組織のグループ制について、9月議会で職員アンケートの実施を求めた

が、実施されたかを伺う。
機構改革により人員が減少し、12課から8課に改革したため、業務内容が分かりにくくなり、また人員構成にも問題があるようだ。見直しを実施する考えがあるか伺う。



機構改革は進んだか？

直すべきところは改める

林総務課長 結果は取りまとめ中である。事務事業の分担・責任が分かりづらくなつたと感じる職員は52・9%。グループ制の存続19・5%。改善し存続36・8%。廃止し新制度4・6%。係制に戻す33・3%であった。

存続と改善し存続を合わせて56・3%の結果である。

改善要望や廃止の意見もある。

取りまとめの結果により、グループ制機能が發揮され行政の総合力が向上するよう改めるところは改める。機構改革は、各課の事務分担も一緒に検討する。

玉川町長 職員の意見を重視し直すべきところは改める。

緑の分権改革を問う

この事業はエコエネルギー等に補助金が使用され

県と協議中

と考えていたが、大部分が調査・研究の委託に使用されるとのことである。事業内容を検討したが、全ての事業が2月末までの調査となつてゐる。2ヶ月でデータが取れるのか等疑問が残る。

町にプラスになるような事業としての方向性を求めるが、考えを伺う。

玉川町長 この事業は、初年度に着手した事業体が、次年度の補助金獲得に対して有利になると予想されたため申請した。しかし2ヶ月の実証実験だけで施設が撤去されることは、非常にもったいないので、現在県と協議中である。

電動自転車等のリース事業については、リース会社と協議し、町に残す形で考えている。

同様な事業が来年度も継続することから、次の段階に進む場合に町にとって大変有利になると考える。



緑の分権改革事業で建てられた「竹ハウス」(釣地区)

保育所・学童クラブの 時間延長を求める



鵜沢一男議員

近年、母子家庭・働く女

性の増加、遠距離通勤、就労形態の多様化を背景として保育所及び学童保育クラブの延長保育を求める要望は今後、さらに高まると考え、次の3点を求める。

① 現在、一宮保育所及び、一宮・東浪見両学童保育クラブで行われている保育を、午後6時半から午後7時に延長を求める。

② 保育を午後7時まで延



延長保育が進む保育所

保育所は時 間を延長へ

長した場合の保護者の費用負担はどうなるのか伺う。
③ 午後7時まで延長した場合、町は国からの費用補助を受けることができるのか伺う。

御園生保育所長 一宮保育

所では午前7時から午後6時半まで開所し延長保育を実施している。

町としても社会的背景により保育時間の延長を求める要望に応え、平成23年度

から一宮保育所にて午後7時まで延長する方向で考えたい。

また、延長保育料の保護者負担については近隣市町村を参考に検討する。

なお、公立保育所の延長保育事業に対する国の補助制度はなく全額町負担で実施することになる。

玉川町長 学童保育クラブの開所時間延長には、両親の就労や子育て支援の点から、保育所と両立して支援ができるように、再度検討する。

長生病院に 産科設置を

当町には産科及び、助産所の施設がなく新生児のすべてが町外で生まれている。子育ては妊娠した時から始まると言われるが、一宮町の子育て支援政策として『安心して子供の産める環境を整えることが最重要』と考える。

周産期医療体制の充実として、地域の中核病院である公立長生病院に産科及び院内助産所の設置と小児科の充実の推進を求める。

産科再開 に取組む

玉川町長 千葉県は9地区の医療圏に分かれており、当町は山武・長生・夷隅医療圏に属している。人口10万人当りの分娩施設の数は県内の医療圏と比較すると安房医療圏3.6ヶ所、市原医療圏2.8ヶ所、当町の医療圏は1.1ヶ所と県内最低の状況である。

この状況下で長生郡市の市町村長も長生病院の立て直しに努力をしている。産科等の設置については、長生病院では平成16年度まで産科が設置されており、お産をするための機能は整っている。しかし、医師不足から産科を閉鎖している状況であり、産科再開に向け、今後とも医師及び助産師の確保に努めたい。

釣ヶ崎広場 整備計画は

現在進められている釣ヶ崎広場整備計画事業について伺う。



祭典場にふさわしい整備を

① 舗装工事の必要性、目的、さらに完成後はどのような利用者になるのか。

② 当地は十二社祭りの祭典場として、また『神の道』の起点として千二百年を超える歴史と伝統のある聖地である。このことが計画の中で配慮されどのような対策が講じられているのか。

また関係者の十分な理解が得られているのかを伺う。

町民の合意 で進める

河野まちづくり推進課長

釣ヶ崎海岸広場は伝統ある十二社祭りの祭典場として、また世界大会が行われるサーフポイントとして知られ、一年を通して来訪者の多い場所である。
新年度に着手を考えているが、祭典場としてふさわしく、また地元の皆様をはじめ多くの観光客が利用できる通年型の多目的広場として整備していく。
また先般、地元釣ヶ区をはじめ関係12団体により整備計画を協議し、おおむね了解を得ているが、今後も関係者の意見を取り入れて計画を進めたい。

政治姿勢を問う



袴田 忍議員

平成20年度に新町長として選出されこの2年間公約を果たすべく、いろいろ新

しい政策（住民参加型の委員会活動・デマンド交通等）を打ち出してきた。市町村合併をしないで、誰もが安心な住みよい町づくりを目指す政治姿勢を伺う。

また、次期町長選に出馬予定の考えはあるのか。



安心な住みよい町づくりを

住民協働の町づくり

玉川町長 地方分権が進め

られ、国や県から町への権限移譲や義務づけが強化される

ると、今まで以上に町は基礎自治体としての判断と責任で行政の運営を行い、住民のニーズに応えていく必要があると思う。

一宮町が合併しないで、充実した町づくりを行って

いくには、行政・議会の基盤の強化と効率化を図り、住民協働の町づくりを進める必要があると考える。

情報公開と住民参加を推進し、行政・議会・住民が情報を共有化し、住民参加・協働による地域協働社会のより一層の充実を図り、住民の理解のもとに町づくりを進めていくことが必要と考える。

次期町長選については、町民に約束したマニフェストを実現するために全力を尽くしている最中であるので、出馬するかどうかはまだ一切考えていない。

病児・休日保育は

働く保護者への支援策として病児保育は欠かせない。

近隣の市町村は実施しているが、町では実施の動きはあるのか。

また、他の支援を受けられるようなシステムがあれば伺う。

さらに休日や祝日等の保育所の開所について問う。

今後検討

岡本福祉健康課長 近隣の

長生村・いすみ市同様に、町外の施設である白子町の

「酒井医院」の経営支援を来年度実施で考えている。

また、町内にも病院施設ではないが、病後保育のできる施設はある。この施設の内容を十分把握した中で、

支援などを検討していききたい。

御園生保育所長 現在管内の公立保育所で、休日・祝日保育を実施しているところ



ペットはお互いのモラルで

ペット放棄等の問題は

ろはない。今後検討していきたい。

「犬・猫」などペットとして飼われたものが、生ま

れて間もなく無造作に捨てられ、野生化して無惨な姿

になっている。

動物を飼う人間のモラルの問題もあるが、対応策として避妊手術もある。この

対策に助成できるか。できるならどれくらいの範囲で助成できるのか。

飼主のモラルで

小関都市環境課長 ペット

放棄の問題発生を防止する対策として、広報紙・ホー

ムページで広報活動を行っている。去勢手術費用につ

いては、関係財団法人が一部助成をしているだけで、

額も決められている。

飼主のモラルの問題で助成金に頼らず、飼主自ら飼

う前に考えてほしい問題である。

新にここにサービスは

1日前の予約で



鶴岡 巖議員

外出支援事業は、通院介助から外出支援へと利用範囲を拡大し、10月から試験運行を開始した。

町はアンケート調査をしているが、住民からは「予約は1日前から、土日も運行してほしい」といった要望が出ている。この間の利用状況の変化等はどうか。また、この事業は外出支



活躍中の「ににこカー」

受付方法を調整し早期に対応

河野まちづくり推進課長
試験運行後の2ヶ月間を見ると、登録者は463名で3倍増、利用状況は425回で5割り増しの状況であ

援へと拡大し、お年寄りの生きがいや、健康増進に役立つ有益なものとなっている。今後も、財政負担や費用対効果だけを見るのではなく、福祉事業として継続してほしいが、考えを伺う。

る。利用目的は通院が約7割、買い物等の外出支援が約3割となっている。

また、住民要望である1日前の予約については、受付方法を調整して早期に対応したい。土日の運行等は地元関連業者への十分な配慮のうえで、関係機関との検討が必要と考えている。

不況対策に住宅リフォーム助成を

いま、地域経済の疲弊は深刻化しており、内需振興策として注目されているのが、住宅リフォーム助成制度である。全国的には秋田県をはじめ、多くの自治体での取り組みが広がり、近隣のいすみ市でも実施しており好評である。

この制度は、リフォーム工事の一部を自治体が補助することにより新たな需要が生まれ、産業連関表による試算でも幅広い波及効果を生み、地域経済に大きな

経済効果を与えている。緊急的な不況対策として実施を求めたい。

実施に向け検討

玉川町長 この制度は、最新の資料によると33の都道府県179の自治体で実施している。いすみ市では1住宅1回限り、20万円以上のリフォーム工事に要した金額の10%相当額を助成し20万円が上限となっている。

工事申請件数は214件(11月末現在)、事業効果は産業関連を含めると4億5千万円という大変著しい効果が生まれている。町は、住民の生活環境向上と、施工に当たる町内業者の経済活性化になることから、事業期間を限定し実施に向けて検討したい。

踏切内の縁石は撤去

神門踏切は危険な状態が続いており、南側の歩道改善には現実的な対応が求められている。



安全対策が待たれる神門踏切

そんな中、11月2日には県の担当課が、現場踏査を実施され検討することになった。

歩行者の交通量は南側と比べ、北側を通行される人がかなり多い。その実態から解決へ向けてどのように認識されているのか。

また、踏切内には高さ15cm、幅15cm余りのブロック(縁石)があり非常に危険なため撤去が急務である。早急な対応を求める。

白線を引き安全に

そうした現状を踏まえ県及びJRには、一日でも早く改善されるよう協議を重ねていきたい。

玉川町長 神門踏切は大変

平成二十二年第三回臨時議会

平成22年第3回臨時議会は11月26日に開催され、条例の一部改正2件、一般会計他4特別会計の補正予算、発議1件が原案どおり可決しました。

特別職に在る者の常勤の給与及び旅費に関する条例の一部改正

改正内容は、特別職の期末手当を職員と同様に、人事院勧告並びに千葉県人事委員会の勧告に倣い見直すもので、期末手当の支給率を職員と同じ20/100を減額するものです。

期末手当の支給率				
改正前	6月	195/100	↓ 改正後	190/100
改正前	12月	220/100	↓ 改正後	205/100

一般職員の給与に関する条例等の一部改正

改正内容は、人事院勧告並びに千葉県人事委員会の勧告に倣い、職員の給与と期末手当を見直すもので、給与は、平均0.19%減額、期末・勤勉手当は20/100を減額するものです。

期末・勤勉手当の支給率				
改正前	6月	195／100	↓ 改正後	190／100
改正前	12月	220／100	↓ 改正後	205／100

補正予算

- 一般会計補正予算（第3次）
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第3次）
- 介護保険特別会計補正予算（第3次）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2次）
- 農業集落排水事業特別会計補正予算（第2次）
- 一般会計他4特別会計補正予算の主な内容は、一宮町の特別職に在る者の常勤の給与及び旅費に関する条例・

一宮町一般職員の給与に関する条例の一部改正に伴う給与・期末手当等の引下げによるものです。

反対討論

鶴岡 巖議員

千葉県人事委員会の勧告は、給与改定で40才代以上に平均0.1%削減し、加えて55才（7級）以上に一律1.5%削減。さらに全職員の期末勤勉手当（ボーナス）を0.2ヶ月削減し、年間給与を一人当たり平均7千8百円カットするとういうものである。この内容は、2年続きのマイナス勧告となっており、こうした職員の生活給の引き下げは大きな影響を与えている。

町は、人事院勧告に対して、影響のある職員へどのように説明するのか。組合組織のない130名余りの職員は、この勧告の内容に声を出す機会がない。このことを、町長をはじめ町執行部は、どう受け止めているのか。改めて訴えたい。

財界・大企業がつくりだした経済不況の結果のため、官・民格差に民間準拠の名のもと、全く責任のない公務員に賃下げを迫り、内需を拡大し景気回復を求める声に応えようとする。そうした、今回の人事院勧告は、公務員に労働基本権を制約する代償措置としての人事委員会の役割を放棄した不当なものだと言わざるを得ない。

町役場は、町内で最も働く職員の数が多い事業所の1つである。その事業所である町役場が賃金カットに踏みきけることは、購買力の低下を招き地域経済に大きな影響を与えかねない。

広報の中で、「二宮町職員の給与は千葉県下で一番低い」と指摘しているように、早急な改善策が成果となって現れることが急務となっている。いまこそ、職員の生活と権利を守る立場に立ち、職員の給与が、暮らしや子育てに必要な給与水準になっているのか、町が、自主的に判断し努力すべきであると主張し、反対する。

なお、一般会計他4会計補正予算の審議は、本議案と関連するので、討論はしないが反対する。

賛成討論

志田 延子議員

職員の給与は、地方公務員法により、生計費や国及び他の地方公共団体の職員並びに民間企業の従業員給与等との均衡を考慮して定めるとともに、社会一般の情勢に適応するように、随時、適正な措置を講じなければならぬとされている。

千葉県の人事委員会では、県内の従業員50人以上の民間事業所従業員の給与水準について、責任の度合いや学歴、年齢が同等であると認められる者同士をそれぞれ比較して勧告を行っているものであり、町内の事業所もいくつか含まれているものと思われ十分尊重されるべきものであると考える。

また、町民目線に立って見た場合には、職員給与について民間との均衡を図ることが住民理解に繋がり、公務員としての信頼を得るものと判断し賛成する。

発議

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

改正内容は、議会議員期末手当の年間支給月数を改正前の4.5月分から3.5月分とし、特別職や一般職員と同じ支給率に減額するものです。また、平成22年12月期末手当に限り支給を2.0月分に減額し、6月支給済みの1.5月分と併せた年間支給月数を3.5月分とするものです。

平成23年第1回臨時議会は1月24日に開催され、契約1件及び同意1件が原案どおり可決しました。
また、2月13日で任期満了となる選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ次の方々が当選されました。

同意

教育委員会委員に一宮（3区）の町田義昭さんを同意



契約

工事名 国民宿舎一宮荘外解体工事
契約金額 6千8百77万5千円
請負業者 長生郡一宮町一宮3178番地
片岡工業株式会社
代表取締役 片岡暉雄



老朽化により取り壊される一宮荘

選挙管理委員



渡邊 修正
一宮町一宮4510番地
昭和11年8月21日生



小安 正朗
一宮町一宮8345番地
昭和22年4月26日生



近藤 孝雄
一宮町白山9番地4
昭和10年7月2日生



三枝 栄一
一宮町東浪見4024番地
昭和26年1月9日生

選挙管理委員補充員



齋藤 孔久
一宮町一宮1164番地
昭和28年3月26日生



森 公彦
一宮町新地甲2514番地
昭和12年10月3日生



加藤 俊夫
一宮町一宮3066番地
昭和17年8月21日生



関 通昭
一宮町綱田320番地
昭和20年1月27日生

請 願 の 審 査 結 果

件 名	請 願 者	結 果
T P P 交渉参加反対に関する請願	茂原市高師 1 1 5 3 長生農業協同組合 代表理事組合長 宮澤 信夫	採 択

議員発議（意見書）の審査結果

件 名	提 出 者・賛 成 者	結 果
T P P 交渉参加反対を求める意見書	・提出者 一宮町議会議員 室川 常夫 ・賛成者 一宮町議会議員 吉野 繁徳 ・賛成者 一宮町議会議員 鶴沢 一男 ・賛成者 一宮町議会議員 森 佐衛 ・賛成者 一宮町議会議員 小安 博之 ・賛成者 一宮町議会議員 鶴沢 清永	可 決

【議長・議員が出席した主な行事】

	10月	11月	12月
議会の主な動き (平成22年10月～12月)	2日 長生郡市障害者スポーツ大会	5日 議員全員懇談会	3日 郡市負担金審議特別委員会
	5日 広域例月出納検査	9日 第2回臨時議会（初議会）	15日 議会運営委員会
	6日 議会報編集委員会	15日 七歳児合同祝	15日 議会議員全体会議
	10日 エコ・フェスタin千葉	17日 町村議会議長会全国大会	15日 議会報編集委員会
	13日 千葉県町村議会議長会臨時総会	17日 郡町村議会議長会臨時総会	20日 第4回定例議会
	13日 千葉県町村議会議長会議長副議長自治研修会	22日 町例月出納検査	22日 町例月出納検査
	20日 町例月出納検査	25日 広域議会定例会	26日 一宮町アスリート オブ ザ イヤー授賞式
	23日 全国障害者スポーツ大会	26日 第3回臨時議会	
	24日 町議会議員選挙	26日 議会報編集委員会	
	30日 郡町村議会議長会議長局長視察研修（30～1日）	28日 総合防災訓練	

あなたも議会を傍聴しませんか！

次回は3月8日(火)午前9時からの予定です
—お気軽にどうぞ—

編集後記

冬枯れの木々の新芽も膨らみ始める季節。新たな年を迎え初回の本稿を担当することとなりました。

本年1月初現在での一宮町の新生児数が115名を超え、例年より大幅な増加。少子高齢化がさげられる中、人口微増の一宮町が大きく変化を見せ始める兆しなのかと期待も膨らみます。

現在、役場庁舎建設の検討委員会が進行しておりますが、新生児の増加に伴い、庁舎もさることながら、やがて保育所も含めた子育て教育環境の施設整備は重要なテーマとして浮上するでしょう。

今全国では、名古屋市、阿久根市など住民をまき込み、首長と議会との対立があり、その行方が注視されています。

こうした状況下、議会の取り組みを多くの皆様に伝えるメディアの一つとしての議会だよりを、よりわかりやすくできるような努力していきたいと思っています。

（藤乗一由 記）